

高校入試における英検加点制度の見直しについて

平成30年度県立高校入試の英語において、実用英語検定を活用した加点制度を導入した。次の31年度入試に向け、30年度入試結果の分析を行い、英検加点制度の見直しを行いたい。

1 英検加点を導入した主旨

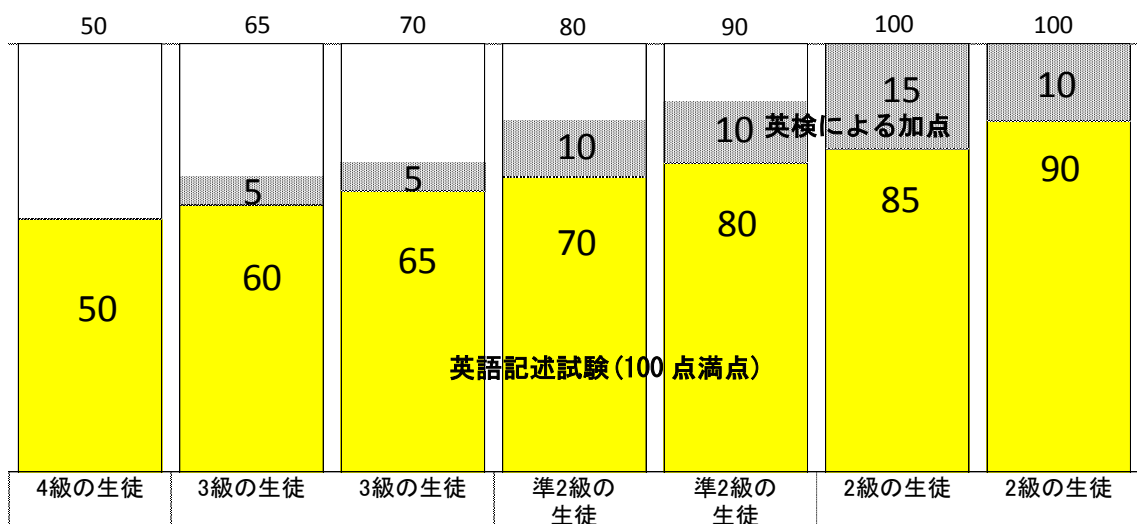
中学校の英語では、読む・書く・聞く・話すの4技能を重視した授業を行っている。「話す力」を評価できる英検の級に応じた加点制度を高校入試を導入することにより、生徒の意識をより高いレベルに高めることを目的とする。

2 平成30年度実施の英検加点の内容

- 外部英語検定試験（実用英語検定）を活用
- 外枠で加点 英検3級5点、準2級10点、2級以上15点

ただし、学力検査の英語の得点と英検の級に応じた加点の合計は100点を上限とする。（下図参考）

【英検取得級ごとの生徒得点分布 イメージ図】



3 英検加点導入までの経緯

- 平成27年10月 「教育に関する大綱」を策定
 12月 「福井県教育振興基本計画」を策定
 外部検定を活用するなど英語スピーキングテストの実施を検討
- 平成28年 7月～ 高校入試制度改革検討会や高等学校長協会、中学校長会、市町教育長会議において検討
 10月 県教育委員会が高校入試における英検の活用を決定・公表
- 平成29年 7月 県議会が英検導入の見直しを求める意見書を可決
 8月 英語の試験の点数と英検取得級による加点との合計の上限を100点とする内容に見直し（平成30年度入試要項を決定）
 9月 県議会が加点の見直しを要求
- 平成30年 3月 英検加点の入試を実施

○ 実用英語検定試験取得者の取得級ごとの受験者数、合否の状況

（全日制・定時制）

取得級	中学3年生の取得状況 (平成29年12月1日現在)	受験者数 A	合格者数 B	合格率 B/A	不合格者数 A-B
2級以上	148人 2.0%	86人 1.9%	82人	95.3%	4人
準2級	1,081人 14.3%	837人 18.6%	731人	87.3%	106人
3級	3,070人 40.5%	1,964人 43.5%	1,759人	89.6%	205人
取得級なし	3,276人 43.2%	1,624人 36.0%	1,564人	96.3%	60人
合計	7,575人 100.0%	4,511人 100.0%	4,136人	91.7%	375人

○ 中学3年生において、英検3級以上相当の英語力を有する生徒の割合

福井県 62.8%（全国1位） 全国平均 40.7%

出典：平成29年度「英語教育実施状況調査」